



# 修郎先生の事件簿2

小池健一氏

～就労ビザ専門会社の現場から～

佐生修郎(さしゅう・しゅうろう)は就労ビザ専門会社で働くコンサルタント。その幅広い知識と長年の現場経験、それに深い洞察に基づきさまざまなアドバイスをを行い、数々の困りごとを解決してきた。座右の銘は「真面目に不真面目」。

大谷翔平 大変だ、大変だ、日本本社の人事から連絡が入ったよ。来年早々、村上君か佐々木君がインドネシア赴任になるかもしれない。だから就労ビザの取得方法を事前に調べておくようにと依頼が来た。

佐生修郎 おやおや、シーズンが終わったばかりなのに、もう来年の話なのだね。

大谷 戦力補強は大切だからね。新しい駐在員向けには、「312就労ビザ」を申請すればよいよね。

佐生 翔平君、それは今年の6月までの話だよ。今では「312就労ビザ」はもう取得できない。

大谷 ええっ、取得出来ない？それではどうすればよいのさ？

佐生 「E x x雇用ビザ」を取ることにする。

大谷 まったく違うインデックスだね。

佐生 さよう。Molinaシステムの事は既に知っているだろう。今年一月から稼働を開始しているイミグレ総局の新しいビザ申請システムの話だ。

大谷 所謂ビジネスビザと呼ばれる訪問ビザ「C2会議商談ビザ」とか

「C17監査ビザ」は、既にMolinaを使って申請取得した経験があるよ。

佐生 ふむふむ。でも、312就労ビザは従来どおりに旧システムのVISANOLINEから発行されていたはずじゃ。

大谷 訪問ビザは新Molinaで発行。312就労ビザは旧VISANOLINEから発行。こんな二系列のシステム運用だったよね。

## 312就労ビザからE x x雇用ビザへ

大谷 でも今は、労働省とイミグレ総局との間のシステム的なオンライン連携は切れている。

佐生 それゆえ、発行済みの就労許可証をあらためてMolinaへ向き合いアップロード投入し、雇用ビザを申請入力することになる。

大谷 手間が増えたね。

佐生 さよう。とはいえ、雇用ビザ申請を開始するタイミングを入国予定日に合わせて意識的に調整できるというメリットはあるぞ。

大谷 超ポジティブ思考だ。

佐生 ひとつ検討を要するのは、雇用ビザのインデックスの選択だ。船員と聖職者を含めると39種類も選択肢があるのだ。

大谷 今までは312と一つ一つのインデックスだったのに、39種類の中から適当なのを選択しなければならぬのだね。

佐生 インデックスは大きく3つのカテゴリーに分かれる。ひとつ目は「(E25群)職位別」。2つ目は「(E24群)デジタル専門家別」、そして「(E23群)産業専門分野別」だ。

大谷 我々に特に関係がありそうなのは、「職位別」と「産業専門分野別」と言えるね。

佐生 取締役やマネージャなどレポートライン管理職は「職位別」から役職名に合わせてインデックスを選択できる。

大谷 アドバイザーやエンジニアは「産業専門分野別」から選ばばよいね。

佐生 流石は翔平君、察しがいね。

大谷 今まさに、Molinaに実際にアクセスして見てみた。村上君はマーケティング担当GMだから「E25D」。佐々木君は製造エンジニアだから「E23」

佐生 これまた行動が速いね。

大谷 雇用ビザ、見えてきたよ。よおし、来年も頑張るぞ。

佐生 その調子だ。ところで翔平君、今年は惜しかったねえ、三冠王。売上と利益は一位だったけど、コスト削減の指標だけは4千ルピアの差で届かず。

大谷 あれでよかったのさ。コスト削減は下請けに皺寄せがいっちゃったりするでしょ。だから無理に追いかけない方がオールジャパンの為になるのさ。

佐生 流石は相手を慮りながら全体を見据える日本男児。自身の成績を優先させるのではなく、オールジャパンで最適な利益を考えているのだね。長い目で見た同胞との協働が重要だったことを肝に銘じてこれからも頑張ろう。

こいけ・ゆういち FPCインドネシア代表取締役。89年学習院大卒、日本アイ・ピー・エム入社。フジスタップへ転職後インドネシアでの事業開発を手掛ける。帰国後に独立。「夢ある街のたいやき屋さん」FC経営を経て、12年8月より現職。栃木県生まれ。58歳。

※本連載は、実際に起きた事例を参考に、インドネシアに滞在、就労する上で気を付ける点について説明するもので、登場人物や事象はフィクションです。実際の事案に対応する場合は、専門家に相談の上、各自のご判断でご検討ください。

「修郎先生の事件簿2」は、原則、毎月第1水曜日に掲載します。

### 佐生修郎 心得の条

- 一 イミグレ総局のビザ申請システムMolinaの業務力カバー範囲が広がった。それにより「312就労ビザ」は消滅。新しく「E x x雇用ビザ」となったことを認識しておくこと。
- 二 雇用ビザには39種類のインデックスが定義されている。その赴任予定者の職位や専門分野に見合ったインデックスを指定して申請取得すること。